特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 453 号] 令和 4 年 2 月 20 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

令和 3 年度河川財団表彰

「優秀成果賞」受賞

2 月 19 日(土)午後 1 時ＴＫＰガーデンシティ―御茶ノ水にて、公益財団法人河川財団の**令和 3 年度優秀成果賞の表彰式が開催**され、草加市カヌー協会「草加パドラーズ」の皆さんを代表して木村、中島の 2 名が参加しました。国土交通大臣賞に熊本県の「次世代に向けてがんばろう会」が、優秀成果表彰が全国 5 団体、埼玉県から草加市カヌー協会「草加パドラーズ」が表彰されました。**私達の河川美化活動はもちろん、カヌーを通して水辺に親しむ活動、危機管理に向けた街づくりが高く評価されたそうです。**15 分間の成果発表を木村、中島の両名が、パネルディスカッションでは中島が草加パドラーズの皆さんの日頃の活動ぶりを広く紹介して参りました。

成果発表会

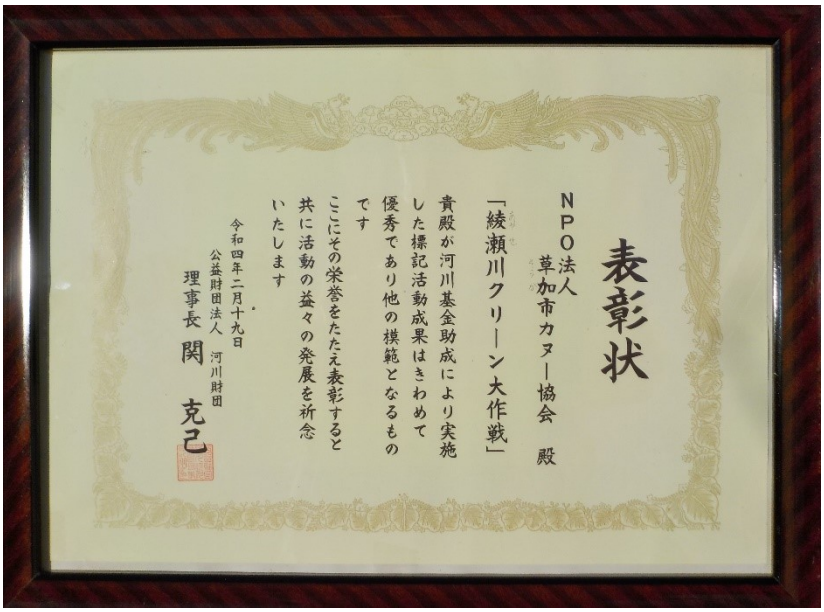
主催者河川財団**関克己**理事長、来賓の国土交通省**内藤正彦**河川管理課長の挨拶の後、

第１部「川と人をつなぐ活動成果発表会」（5 団体）各 15 分間の口頭発表がありました。木村、中島両名が一番目に**「綾瀬川クリーン大作戦」**についてパワーポイントを使って**発表**しました。その後、「なぜ、会員が沢山いて活き活きとやっているのか、秘訣を教えて・・」という**質問**が有りました。木村氏から「船着場へ上陸し、コンビニやガストでモーニングをするのが楽しみ」「ゴミ拾いそのものが楽しい」「自分たちの街が綺麗になるという達成感がある」との会員たちの日頃の感想を紹介しました。

～地域力で子どもたちを育む～というテーマの**パネルディスカッション**へ中島氏が参加。コーディーネーター東京大学知花武佳准教授によって 3 団体＋3 団体（WEB）の意見交換をし、それを総括してくれました。地域の後継者を育てるには、**郷土愛を育む**ことがポイントであるということをまとめてくれました。

表彰式「賞状授与」

草加パドラーズを代表して木村会長が関理事長から表彰状の授与を受けました。



表彰状

NPO法人
草加市カヌー協会　殿

「綾瀬川クリーン大作戦」
貴殿が河川基金助成により実施
した標記活動成果はきわめて
優秀であり他の模範となるもの
です
ここにその栄誉をたたえ表彰すると
共に活動の益々の発展を祈念
いたします

令和四年二月十九日
公益財団法人　河川財団
理事長　関　克己

写真正面中央左が関理事長右が国土交通省内藤環境課長、左が知花先生右隣中島後方左に木村氏が並び記念撮影をしました。午後 5 時に表彰式は無事に終了しました。